



公明党議員団

南 か ず へ

平成30年度決算

国保事業の不足分を一般会計から補う国民健康保険事業特別会計繰出金の抑制のために、保険料収納率の向上策や、給付抑制対策としてのレセプト点検強化、ジェネリック医薬品の促進について、関係所管との連携が必要では。

早期の滞納処分等により取納率の向上を図りたい。また、レセプト点検やジェネリック医薬品についても、関連部署と連携してPRを行う等引き続き強化、促進に努めていく。

新交通システム

中野区における高齢者の移動支援として、狭隘道路でのタクシーやワゴンタイプの乗用車による移動支援や、簡易な仕組みで、周辺の公共施設や病院等を循環する移動支援が最適と考える。新公共交通

私立幼稚園就職内定者への就職準備金及び教諭の宿舎借り上げ補助は全額未執行と



日本共産党議員団

小杉 一男

学校施設の維持・補修

第八中学校の備蓄倉庫は、外に通じる扉の鍵が壊れているため、内側から施錠をしているが、震災時は外から開けられない。平成27年から要望があるが、なぜ放置するのか

現場の状況から避難路として適さないため、優先的に対応しなかった。今後、学校PTAと再度調整をする。

専門家に依頼して学校施設の劣化状況を調査・分析し、総合劣化度を公表すべきである。維持補修を行う根拠が明確になり、施設の機能の維持

通サービスの取り組みを本格的に実施すべきでは。

先進事例のメリット・デメリット、費用対効果などを十分検証し、導入可能性について検討を進めていきたい。

成年後見制度の充実

中野区での成年後見制度利用促進基本計画の策定は、成年後見制度を広く周知させるためにも、単独での計画として策定すべきでは。

来年度、中野区健康福祉総合推進計画の改定も控えており、この計画の策定ともすり合わせながら、成年後見制度に対する区としての取り組みの姿勢を明確にしたいと考えている。

区独自のひきこもり支援

補助金を出すなど、区独自の取り組みを行っては。

悩みを抱える方へのどのような支援が可能か検討する。また、関係団体とも連携し、必要とされる支援を考えたい。

まちなかサロンのHP公開

まちなかサロンや地域の居場所をHPやリーフレットでマップ化し、公開しては。

社協と協議の上、手軽に情報が得られるようにしたい。地域の居場所でも、共通の看板を掲示するなど、区民の誰もが気軽に参加しやすい環境を整えるべきではないか。



自由民主党議員団

山手 謙二

基本構想で示すビジョン

区が目指す未来の中野区の姿を明確に示し、議会、区民と共有する必要がある。例えば地域包括ケアシステム推進の具体的な取り組みが明確になっていないが、ゴールは何で、社会福祉協議会との関わり等、どう進めていくのか

高齢者、子育て世帯、障害者等全ての人が地域で支えあい安心して暮らせるまちの実現がゴールと考える。地域包括ケア会議等を通じ、多様な関係機関の調整を進めることが不可欠であり、社会福祉協議会と互いの強みを生かして連携し、重層的に課題に取り組むことが必要と考える。

持続可能な区政運営

大胆な発想で財源の確保等に取り組むべきでは。

事業経費の削減にとどまらず、新たな財源の確保が重要な課題と考える。新しい発想で区長自身の考えを示すことが基本構想であり、それを実行していくための基本計画、同時に改定されるべき個別計画だと考える。今後具体的にどのようなまちを作っていくのか。

子育て先進区となるためには、投資を呼び込む政策も必要になると考える。またセーフティネットをしっかりと作り、中野にいる人達と力を合わせまちづくりを進めたい。



公明党議員団

久保 りか

学校再編

旧若宮小学校(現美鳩小学校)に建設予定の第四中学校・第八中学校統合新築新校舎の擁壁に関する課題が判明したのはいつ頃か。

区立小・中学校再編計画策定当初から認識していた。擁壁の状況など、実際に工事に取らなければならないと、建設に要するコストや時間がわからないのか。

地中埋設物や近隣で行われている他の工事などの状況により、コストやスケジュールに変更が生じる可能性があると考えている。

いつ学校が開校されるのかわからないというのは、生

徒たちに負担を強いるのではないか。当初の計画通り統合と新校舎移転を同時に行うよう、早期に再編スケジュールの延期や見直しをすべきでは。

教育委員会内で議論し、早急に結論を出したい。

区立小・中学校再編計画策定当初から認識していた。擁壁の状況など、実際に工事に取らなければならないと、建設に要するコストや時間がわからないのか。

地中埋設物や近隣で行われている他の工事などの状況により、コストやスケジュールに変更が生じる可能性があると考えている。

いつ学校が開校されるのかわからないというのは、生



立憲民主党・無所属議員団

ひやま 隆

羽田空港機能強化による新飛行ルート問題

国は、都内上空を超低空で飛行し、中野区上空を通過する新飛行ルートの運用を、来年3月末から開始すると発表された。どの程度の騒音が発生する見込みなのか。

58デシベルから70デシベル程度である。予想される騒音は、区の騒音の規制基準を下回るか。

規制基準値より大きい航空機騒音は環境省が定めた環境基準により評価する。この環境基準には適合する。

学校再編

旧若宮小学校(現美鳩小学校)に建設予定の第四中学校・第八中学校統合新築新校舎の擁壁に関する課題が判明したのはいつ頃か。

区立小・中学校再編計画策定当初から認識していた。擁壁の状況など、実際に工事に取らなければならないと、建設に要するコストや時間がわからないのか。

地中埋設物や近隣で行われている他の工事などの状況により、コストやスケジュールに変更が生じる可能性があると考えている。

いつ学校が開校されるのかわからないというのは、生

寧な説明の求めたところ、運用開始に向けて引き続き説明をするとの回答を得ている。

いつまで続くのか。

明らかではない。

新飛行ルートは大きな禍根を残すものであり、到底受け入れられるものではない。国は経済成長、インバウンドを強調するが、それらの名の下に区民の安心・安全が脅かされることであってはならない。区は、新飛行ルートの中

止を求めていくべきでは。国の責任と判断で決定したものであり、今後の取り組みを注視していきたい。

区議会各会派のEメールアドレス

- 自由民主党議員団 jimintou.nakanokugikai@mbn.nifty.com
立憲民主党・無所属議員団 info@rikken-nakano.tv
公明党議員団 kugidan@nakano-komei.net
日本共産党議員団 jcp.nakanokugidan@mbn.nifty.com
都民ファーストの会中野区議団 tomin1st.nakano@mbr.nifty.com
育児支援と防災緑地と平らな歩道の中野を創る会 ikuryoku@mbr.nifty.com